

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	建設部都市計画課		■担当係	公園緑地係
■評価事業名称	保存樹木等事務			
■評価事業コード	070400 - 303	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	01 快適な居住環境の形成		
	■施策	03 緑のまちづくりの推進		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	都市緑地法			
■関連計画の名称	北上市緑の基本計画			
■事業の目的と概要	緑の保全・育成を図ることにより、景観に配慮した良好な都市環境の形成を促進する。保存樹木、泉等指定事務、保存樹木等維持管理補助金の交付			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	保存樹木等事務	一般		保存樹木指定2件、保存木保険加入等

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	126	156	149	118	
人件費	2,964	3,600	1,541	944	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,090	3,756	1,690	1,062	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	看板設置数	1基	0基	0基	0基	平成24年度設置なし。平成23年度設置なし。平成22年度設置なし。平成21年度新規1基

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

02	賠償責任保険加入件数	66件	63件	63件	63件	平成24年度樹木63件、樹林7件、泉7件 平成23年度樹木63件、樹林7件、泉7件。平成22年度 減失3件により63件(95本)。平成21年度 新規指定1件により66件(106本)。なお、目標設定値が保存樹木加入件数のため、実績値は保存樹木加入件数を計上。
03	保存樹木等の保存率	80件	77件	77件	100%	保存件数÷指定件数
04	1基当りコスト	3,090,000円				
05	1件当り(加入件数)コスト	46,818円	59,619円	26,825円	16,857円	
06	1件当り(指定件数)コスト	38,625円	48,649円	21,948円	13,792円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

保存率100%を達成できた。

問題点・課題等

平成24年度に保存樹木指定2件行ったものの、予算不足から看板の設置を行うことができなかった。保存樹木の現況調査を行う必要あり。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明